

8
2019

USHI DOC

じっくり書く人の読書マガジン



パーソナルマガジンのすすめ

パーソナルマガジンの魅力

PowerPointでDTP

レイアウトのコツ

マイメディアで公開

特集

情報整理概論

連載

半人前翻訳塾 第九の場合

通痛眩々

第1回「嘲笑と偉大」

CONTENTS

3 パーソナルマガジンのすすめ

パーソナルマガジンの魅力

PowerPointでDTP

レイアウトのコツ

マイメディアで公開

5 特集 情報整理概論

6 半人前翻訳塾 第九の場合

7 連載 通痛眩々 第1回 嘲笑と偉大

8 編集後記

パーソナルマガジンのすすめ

パーソナルマガジンの魅力

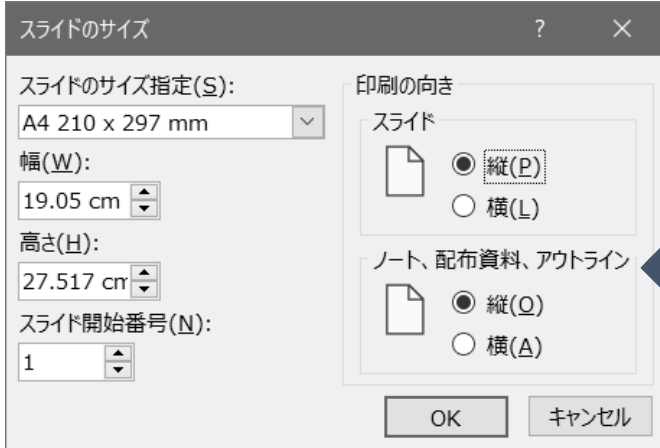
Web2.0が普及し、10年以上が経過した。草分け企業のブログやSNSは、ユーザーを新たに開拓しにくくなる一方、コンテンツを小売りできるメディアが、ユーザー数を伸ばしている。それでもなお、作ったものを無料で公開するユーザーは多くいる。考えることは人間の本能的活動。生活を楽しむ術であり、人生を代表する趣味であり、将来活躍するための訓練でもある。躍するウェブサービスで発表する作品は、無料であり、形式が決まっておらず、どこまでも気はかき立てられる。ならば、体裁や割付も自分でレイアウトして、自分で出版してしまおう。自費出版ではなく、ウェブに無料で公開。いくら公開しても無料なので、定期的に刊行してもいい。こうした「パーソナルマガジン」のアイデアは生まれた。パーソナルマガジンは、自作のコンテンツを自作のデザインで組む、自分で決める。印刷物ではなくウェブ公開なので、誤植やデザインの変更があれば、版数をインクリメントして、ひっそりと修正後のファイルを入れ替えてもいい。マガジンを作ると、マガジン編集業務の携わって見方が変わる。マガジンの見方が変わる。

PowerPointでDTP

パーソナルマガジンの原稿を書くには、Officeが使えるなら、準備は充分。Publisherを利用すれば、印刷時には重宝するうえ、ルビ、縦中横、印刷用テンプレートを使えるなど、PowerPointにはない機能もある。今回はWebで無料掲載するので、PowerPointで作る。原稿が出来上がったら、PDFに変換して公開する。



まず、サイズから。「デザイン」タブの「スライドのサイズ」から「ユーザー設定のスライドのサイズ(C)」をクリックし、出来上がりのサイズや向きを決める。印刷物ではないので、JIS規格にこだわるより、デスクトップのディスプレイや、スマホやタブレットでしっかり見られるサイズを選択する。特定のターゲットがあると決めやすい。



次に、コンテンツを書く。文にするときは、PowerPointを開いて打つ前に、エディタやクラウドノートブックにあらかじめ記事を書きためておく。ある程度の分量になったら、テキストをPowerPointに貼り付けて、組版する。フォントは明朝かゴシックか。そのサイズは本文では10~11pt、見出しは大胆に。縦書きか、横書きか。一行の最大文字数は35文字だから、何段にするか。文字色は全体のカラーコードに合わせて制限。テキストオブジェクトの微調整は矢印キーで、整列は「図形の書式」タブの「配置」から。内容も段落で揃える。あと行間も。両端揃えにし、単語で改行できればよりよい。決めることは山ほどあり、さばいていくのが快い。

レイアウトのコツ

近接 - 近づける、離す

関連する情報を近づけ、グループにします。そして、他の情報やグループから離します。

整列 - そろえる、並ばせる

透明な補助線が見えるように並べ、すべての要素を緊密に（合理的に）配置します。

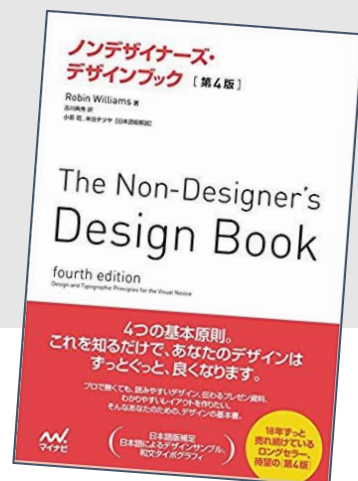
反復 - ルールを繰り返す

いくつかの要素に同じルールを適用します。

対比 - 差異をつける

他の要素とは異なるように、大胆なコントラストを付けます。

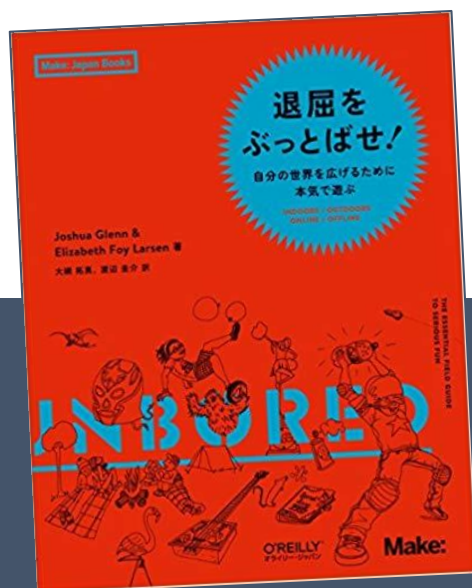
これらデザインの4つの法則は、ロビン・ウィリアムズによる「ノンデザイナーズ・デザインブック」で初めて提唱されました。DTPやWeb業界で広く読まれているようです。



マイメディアで公開

今やマイメディアを持っていない人の方が少ないでしょう。ブログサービス、マイクロブログ、独自ドメインでブログを運営している人もいます。パーソナルマガジンの発行は、ファイルをサーバーにアップロードするだけで済みます。あとは宣伝です。多くの人に読まれたいと思えば、FacebookやTwitterにマガジンファイルのURLを投稿します。マガジンファイルを画像にしてInstagramに投稿するもあり。WordPressにマガジンページを用意して、第2号以降もダウンロードできるようにしておいたり、自分のウェブサイトで配布するページを作成できるなら、Amazonばりの紹介文と目次を作成したっていいはずです。

マイメディアからパーソナルマガジンを発行すると、生活の楽しみとなるでしょう。原稿執筆から組版、レイアウトまで、すべて一人でやってのけなくてはならないので、もちろん最初は時間もかかります。細部への責任を感じるようになれば、もう占めたもの。あなたは編集者としてマイメディアでパーソナルマガジンを発行し続けるでしょう。数十年後に100号記念誌を特集するころには、地域の広報誌や団体の冊子を一手に引き受けられる人物として重宝され、有意義な時間を過ごせます。メリットは大きい！



この記事のアイデアは「退屈をぶっとばせ!」という本に書かれています。この本に書かれていることを始めると、すぐに退屈を忘れます。関心の持てる趣味を探り当て、退屈をあっという間になくせることに驚ける本です。

パソコンを使っていると、あちこちで面白い情報が手軽に入手できるので、つい情報にあふれてしまいます。また、事務管理、企画資料や、文章、写真、映像などを制作していると、ファイルはどんどん増えていきます。もし「この情報革命の時代、あふれるばかりの情報とどのように付き合うべきか」と真剣に考えるなら、灯台下暗し、まず自身のパソコンと付き合ってみませんか。整理されたパソコンを使っていると、この時代であっても悠然と構えていられます。そして、整理しているうちに、神経が徐々に休まり、気分もすっきりしてきます。

1. デスクトップのよくある話し

まず、デスクトップがこうなっていないませんか？



日頃、たくさん仕事があると、保存先をデスクトップにして、そのままにする癖がありませんか。よく使うファイルなら、すぐに開けるよう、デスクトップに置くととても便利です。でも、よく使うファイルが本当に多くなったら、デスクトップがアイコンで埋まり、せっかく場所を覚えても、しばしば忘れるものなので、すぐに探し出せなくなってしまいます。

2. 探すことは整理するより疲れる

探すことは、整理するより、疲れます。探すために時間を使うと、整理する余裕が減り、せっかく整理する機会が持ちにくくなりがちです。探すには、過去の時点のたくさんのことを思い出し、使うまでの時間を焦りつつ探さねばなりません。反対に、整理していると、過去の記憶から次々と解放され、すぐに探せるようになると、心の負担が減り、神経をいやさず。パソコンを開いてすぐやることに取られると、それだけでストレスが軽くなります。

特集 情報整理概論

情報革命の時代に悠然と構える方法

3. 生き物も同じ

生き物も、外の世界で起こる事象にすばやく反応できるよう、身体の中をいつも整理しておくことに、時間とエネルギーを惜しみません。例えば、花粉にすばやく反応すると、鼻水が出ます。すばやく反応するために、免疫の分子を粘膜に整理しておくからです。また、食べて、消化して、吸収して、排出することで、分子を更新しておきます。熱が加わると物事は散らばっていきませんが、整理すると若干冷えます。体温を一定に保つためにも、分子をいつも整理しておくのです。整理は生命の最も基本的な機能だと思います。整理はとても生命らしい行為なのかもしれません。

4. 整理されているほど価値が高い

世の中には、整理するための専門職がありますし、整理されていることを売りにするところもあります。例えば、図書館司書や博物館の学芸員。本の配架、展示の構成。いずれも情報を扱います。整理された情報は、見やすく、興味が増し、心がいやされることもあります。情報は整理されていると、それだけで価値が高まります。だからこそ、本は買う価値があり、ウェブサイトは情報をデザインする必要があります。

5. 整理＝集める＋分ける

思い立ったが吉日、整理するためだけの日を作ってみては。ここで、整理とは何をどうすることかを考えてみます。例えば、掃除とは、ごみを移動するだけでなく、ごみを整理することです。ごみかどうかを判断し、ごみを処理の方法で分別します。つまり、掃除には、ごみと使うものとを判別する過程と、ごみの性質で分類する過程があります。整理とは、まとめて分け、分けてまとめることの繰り返しです。まとめる時にはグループが、分ける時にカテゴリが、あると便利です。グループにもカテゴリにも、名前を付けると楽です。

6. フォルダに名前を付けて使う

ファイルをまとめる時にも、分ける時にも、フォルダは便利です。ファイルをグループにできるときは、そのグループの名前でフォルダを作ってしまう。その中にファイルを集めます。また、カテゴリで分類できるときには、いくつものカテゴリの名前でそれぞれフォルダを作ってしまう。フォルダを作ったら、分類したようにファイルを放り込んでいくだけです。実は、パソコンの整理のポイントは、フォルダに名前を付けることなのです。

7. 整理して疲れさせないデザイン

ウェブデザインにかかるほとんどの時間は、情報をどのように整理するかを考えることに使います。欲しい情報がすぐに見つかるウェブサイトは使いやすいものです。パソコンを整理していると、どのようにグループ化し、どのようにカテゴリ化すればすぐにファイルが見つかるか、コツがわかってきます。ユーザーがすぐに探せるウェブデザインを設計するには、なかなか難しいと思うのですが、部屋の棚や部屋の仕切り方など、身の回りのデザインとその使い方を振り返ってみると、ヒントが見つかるかもしれません。万物はできるだけ長く存在するために、いつも整理されているのです。

半人前翻訳塾

第九の場合

An die Freude (1803) Johann Christoph Friedrich von Schiller

Freude, schöner Götterfunken,
よろこび 美しい神のスパーク＝みちびき

Tochter aus Elysium,
天国からの乙女＝み国の民

Wir betreten feuertrunken,
私達 入る 炎を飲む＝信仰

Himmlische, dein Heiligtum!
天国 神の聖所＝聖なところ

Deine Zauber binden wieder,
神のくすしきみ力 つなげる ふたたび

was die Mode streng geteilt;
もの 時代によって 厳しい 離れていった

alle Menschen werden Brüder,
みな 人々は になる きょうだい

wo dein sanfter Flügel weilt.
で 神の やさしい 翼＝み手 いる

よろこび、みちびき、

み国の民よ！

聖なところに

入（い）る信仰よ！

ふたたびつなげる、

離れていったものを。

みなきょうだいになる。

やさしいみ手で。

げんげん 通々 痛々

「しばらく私は笑われる。私は死ぬまで笑える。人類は永遠に笑うだろう。」

Kenes Tocval

第1回 嘲笑と偉大

10年前、オランダの国際数学賞「オランダ・マスター」を受賞し、一躍時の人となったベルギーの数学者ケネス・トクヴァール氏が、2019年7月14日、イギリスの別荘で87歳の生涯を閉じた。氏のその数奇な研究者人生は、多くのファンを惹きつけ、氏の言語録はTwitterでボットとして流れているほどだ。

トクヴァール氏は1932年ベルギーで生まれ、終戦後イギリスのプリマス総合大学で計算機科学を専攻した。学生時代から数学の創造に情熱を注ぎ、グラフ理論や複素解析、確率論の分野でトクヴァール氏は名前を残している。一見、その研究者人生は順風で、偉大な人物の生き方であるように思う。だが、氏は違った。数学者としての功績を公表した時期が、72歳のときだったのだ。そして、氏の名を数学界で永遠にした出来事に、ある数学問題への貢献、しかも死後もまとまった形で公表しないよう、生前近親者に伝えられていたのだ。氏がその問題を解いていたとみる研究者は少なくない。トクヴァール氏が研究機関に所属したことはない。高等学校の数学教師を務めた後、弁理士として事務所を開業し、平均的な収入を得ていた。勤務時間が柔軟だったため、本業の傍ら数学の研究を進めていたという。数学者として名を残そうとも身を立てようとも思わなかったそう。

70歳の時、近所のある青年と高校の数学の宿題について話していた時、青年はトクヴァール氏の尋常でない数学の才能を知り、驚いた。そこで彼が投稿した、地元のタウン誌の記事がきっかけで、数学好きなおじいさんとして周囲に知られるようになった。たまたま近隣に住んでいた38歳のエンジニア

アが、企業で暗号研究に携わっており、トクヴァール氏の数学をいくらか理解できた。実は、トクヴァール氏が長年情熱を燃やした問題とは、現代の情報システムに採用されている暗号アルゴリズムを解いてしまう予想だった。そのエンジニアはトクヴァール氏のメモを見たところ、その予想の最初の50項について正確に導出する複素幾何学の数式を発見し、冷や汗をかいた。彼はトクヴァール氏に、「この考察を論文にしないのはもったいない。」と進言したが、トクヴァール氏はこう応じた。「論文を公開しても責任がとれない。懸賞金の代償は高くつく。」近所ですっかり広まった噂ですが、気が替わったのか、トクヴァール氏は研究メモの一部を「安全を保証する」と記したスタンプを押し、国際的に権威のある学術雑誌に投稿し、1年後に掲載された。トクヴァール氏の膨大なメモが初めて功績となり、新聞にも取り上げられた。その顕著さから、3年後にイギリスの数学賞を、5年後にオランダ・マスターを受賞した。

亡くなる数日前まで別荘の机でメモの整理をしていたという。「I am laughed for day. I can laugh for end. We will laugh for ever.」

ということばは、死後、近親者により発見された。予想の解決を図っていたとみられる時期と重なっている。トクヴァール氏がその予想をどこまで解いていたかは謎である。しかし、このメモから察するに、解決の成功とともに多くのものを捨て去ったのだろう。トクヴァール氏は生涯にわたり独身で、近所の小さな教会の人々のほかに知り合いはいなかった。



編集後記

電車で読んだ本、カレル・チャペック「いろいろな人たち」。「ロボット」という語を造語したことで知られるこの作家は、今では人気紅茶店の名称としても知られている。本作中「悲観主義について」で、バターを塗ったパンの話が出てくる。バター付きのパンは、いつもバターを塗った面を下にして落ちる、という主張に、チャペックは「恐ろしくて反論できない暗い確信」と悲観主義の極みの例とする。バター付きのパンを落とすとバターが床に付き、もう一度と食べない。だが、チャペックはこうも述べる。塗ってある方の面が重いから、という主張は悲観さが幾分和らぐ、だが、バター付きパンがバターを塗った面を下にして落ちる回数が多いのか、はたまた逆なのかについての統計は未だに確立されていない、と。

そこで、電車の中でバター付きパンを検索した。現代である。さすがにすぐに見つかった。イギリスのクリス・スミス博士は、百枚のバター付きトーストをテーブルから落とす実験を行い、トーストがバターの面を下に向けて落ちる確率が81%であることを突き止めた。さらに、もしバターを塗った面を上にして落としたいなら、高さ2.4メートルのテーブルを買うことだ、そうすれば裏返しではなく、一回転して床に落ちるという。これには電車内で笑ってしまった。しかも、パンの形を変えればよいとまで提案する。例えばバター面を内側にして両面を閉じれば、どのように落ちてもバターの面が地面に触れることはない。なるほど、人間はどこまでも楽観的になれるようである。

帰宅して、検索結果にあるモーツアルトの「バターつきパン」という小品を聴いた。曲想から、どうやらバター付きパンは机から滑り落ちた様子で、バター面は最後に「案の定」なようだが、楽観的な作品だった。

この曲が本当にモーツアルトによる作品か、はたまた違うのかについての研究は未だに進んでいないが、この明るさから本人によるものと思わせる。楽観主義はどこまでも楽観主義で、悲観主義はいつまでも悲観主義である。チャペックの記述は古びることがない。